

## 土曜授業

月	小学校	中学校
4	公開授業	
5	小中・校区民合同体育祭	
6	子どもヘルパー活動	
7	体験活動	チャレンジ学習
8	校内水泳記録会	村内ガードレール清掃
9		
10	体験活動	ヒップホップダンス
11	小中学習発表会	
12	村人権集会	
1	体験活動	チャレンジ学習
2		公開授業
3	小中卒業証書授与式	
回数	10回	10回

平成 27・28 年度 県指定「土曜授業推進事業」

## ICT活用

< ICT 機器整備状況 >

電子黒板・実物投影機導入

- ◇ 平成 22 年 3 月・・・12 台  
普通教室＋小中理科室＋英会話教室
- ◇ 平成 26 年 3 月・・・1 台  
中学校技術室

タブレット端末導入

- ◇ 平成 25 年 9 月・・・20 台
- ◇ 平成 26 年 9 月・・・60 台
- ◇ 平成 27 年度  
・・・タブレット端末 40 台導入  
(一人 1 台の環境に)

平成 26 年度・平成 27 年度  
県指定「ICT を活用した『未来の学校』  
創造プロジェクト推進事業」研究発表  
平成 28 年  
日本教育工学協会より「学校情報科優良校」に認定される。

## 産山の教育

We have a dream

## 産山で教育を受けてよかったと実感できる教育の創造

～0歳からの育ちをつなぐ一貫教育を目指して～

- 1 子どもたちに確かな学力をつける。
- 2 郷土を知り、郷土を愛する子どもたちを育てる。
- 3 保育園・小中学校の段差を低くして教育効果を上げる。
- 4 地域と保育園・学校が協力して、学校教育の充実を図る。

### 保小中一貫教育

二学期制

ICT活用

土曜授業

コミュニティ・スクール

学びの連続性・「じっくり」「しっかり」「のびのび」



## コミュニティ・スクール

基本コンセプト：「我ら学校応援隊」

### 学校運営協議会

- < 構成 > ◇各コミュニティ代表 4 名 ◇各行政機関代表 ◇保護者代表小中各 1 名  
◇学識経験者 ◇学校長小中各 1 名 ◇教育委員会が必要と認める者若干名

### 学校運営協議会事務局

#### 交流コミュニティ (広げ隊)

交流活動を通して、他地域や他国の文化や伝統を理解し、国際社会の一員としての自覚と、ふるさと「産山」や日本の文化・伝統を学ぶ場の支援  
◇ヒゴタイ交流  
◇御所浦交流  
◇国際理解教育

#### 体験コミュニティ (暮らし隊)

体験を通して、福祉や将来の進路に関心をもち、自分たちの暮らしや生き方を考えるための支援  
◇子どもヘルパー支援  
◇福祉体験活動  
◇学びの森活動  
◇職場体験学習  
◇農業体験学習

#### 文化・安全コミュニティ (伝え隊)

産山村の伝統・文化を守り伝えていく心を養い、産山村の地域安全を守る活動を通して、産山を愛する心を育てるための支援  
◇ヒゴタイ太鼓  
◇浦安の舞  
◇少年消防隊  
◇登校安全

#### 学習支援コミュニティ (学び隊)

環境、食育、地域等に関する学習を支援したり、読書に親しむ態度を育てたりするための支援  
◇地域学習  
◇環境学習  
◇子ども議会  
◇食育  
◇読み聞かせ

産山村学校地域協働本部コーディネーター

産山村学校地域協働本部

H16年度

県下に先駆け二学期制を導入

H19年度

村内 2 小学校（産山北部小学校・山鹿小学校）が統合産山小学校となり、校舎も中学校舎と併設される

H19・20年度

構造改革特区（小中一貫教育特区）認定を受ける

H21年度～

文部科学省承認教育課程特例校として小中一貫教育を推進

H21年度～

「学校応援隊」（文科省委託：学校支援地域本部事業）の展開

H21年度～

文科省よりコミュニティ・スクールの指定、事業展開

H22年度～

全教室に電子黒板配置、ICT活用の研究開始

H23年度～

西日本で初の土曜授業を開始

H25年度～

保育園を教育委員会に移管

H27年度

産山村学校運営協議会が文部科学大臣賞受賞

## 二学期制

学年始	4/8	夏季	8/26	秋季	10/13	冬季	1/8	学年末
休業日	~7/20	休業日	~10/6	休業日	~12/22	休業日	~3/25	休業日
前期				後期				

- ① 長期休業日の効果的活用  
 ア サポート教室  
 イ 学校行事
- ② 評価活動の充実・・・教職員の意識改革  
 ア 年2回の「通知表」と年4回の「学習の歩み」の配布  
 イ 評価システム

## 保小中一貫教育（5・2・2制）

保育園	1年 (小1)	2年 (小2)	3年 (小3)	4年 (小4)	5年 (小5)	6年 (小6)	7年 (中1)	8年 (中2)	9年 (中3)
幼児期	前期				中期		後期		

夢への芽生え期

夢への助走期

夢への疾走期

夢への跳躍期

## 特色ある教育課程

	前期					中期		後期	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
英会話科	20	20	35	35	35	35	35	35	35
英語科					35	35	140	140	140
うぶやま学	34	35	35	35	35	35	35	35	35
チャレンジ学習			35	35	35	35	35	35	35



### <英会話科>

1年生から9年生まで、9年間を教科として創設



### <英語科>

5・6年生に「中学校の英語科」を先取りし、教科（週1時間）として位置づけ

### <うぶやま学>

地域との連携や地域人材の活用を通して、体験を重視した学習を展開し、子どもたちの心を豊かにするとともに、「産山」に誇りを持ち、将来の自己の生き方を考えていく学習



【田植え体験】



【子どもヘルパー活動】

### <チャレンジ学習>

「国語」「算数・数学」において、子ども自らが目標を設定し挑戦していく学習。学外検定（漢検、算数・数学定、英検）へ挑戦できるシステムを整え、子どもの学習意欲を喚起し、能力の向上を図る学習



【チャレンジ学習 小中教員による複数指導体制】

## 小中連携システム

兼務辞令の発令により、小中連携システムとして下記の取組が可能に

- ① 中学校教員の小学校乗り入れ授業（教科担任制）
- ② 合同行事開催と相互共通指導
- ③ 授業の複数指導体制

図工

教科担任制

体育

### 物的環境の共有・合同行事

メディアセンター（多目的室）



音楽

英語

### 複数指導体制

<英会話科>

<理科>



小学校担任、中学校英語担当、ALT



小学校理科専科、中学校理科教員

